

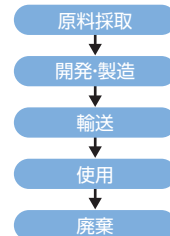
製品における環境配慮①「オルフィスX」シリーズ

製品のライフサイクルを通じて排出されるCO<sub>2</sub>量を、**40%\***削減しました。(※当社従来機種比)

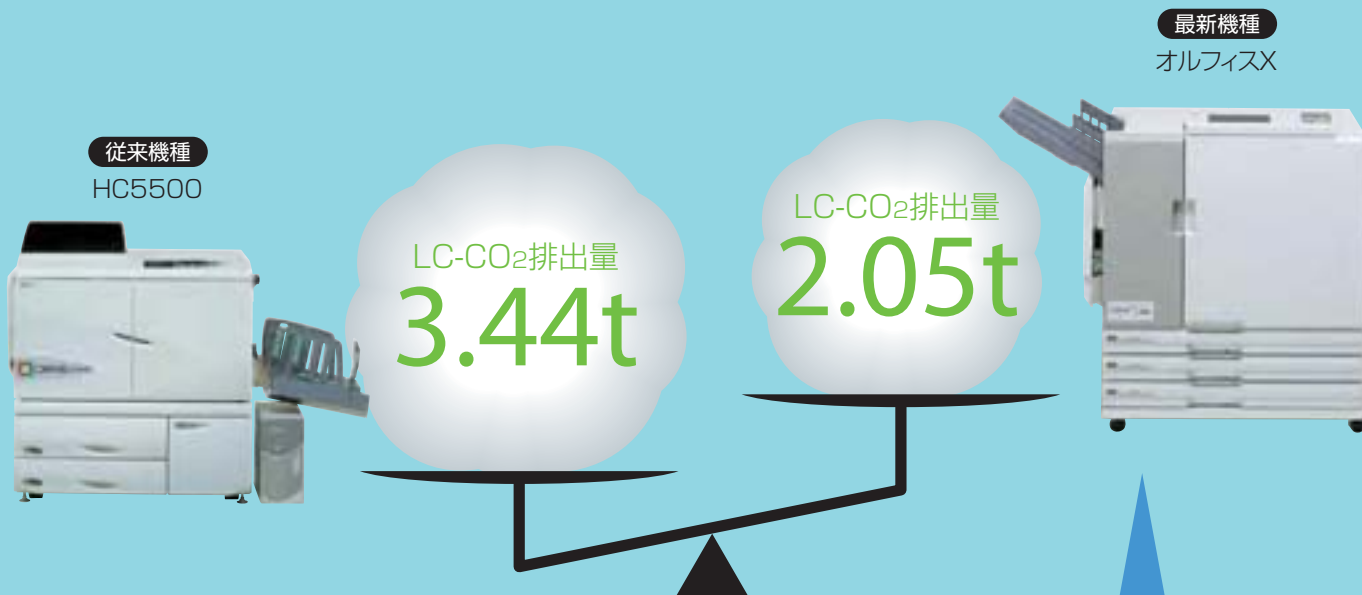
理想科学は、製品の開発・製造段階のみならず、使用から廃棄にいたるまでの全ライフサイクルを通じた環境負荷低減をめざしています。たとえば、オルフィスX。従来のHCシリーズに比べ、基本性能を向上させたうえで、LC-CO<sub>2</sub>排出量\*の40%削減を実現しました。

\*製品のライフサイクル全体の環境負荷を二酸化炭素排出量に換算した値。

製品ライフサイクル



製品1台あたりのLC-CO<sub>2</sub>排出量の比較



注: LC-CO<sub>2</sub>排出量の算出は、当社LC-CO<sub>2</sub>(LCA)分析結果によります。

オルフィスXは、性能もUP!

オルフィスX9050は、印刷スピードの向上や1枚当たりの印刷コストの低減を実現したうえで、環境負荷の低減も達成しています。

印刷スピードは毎分120枚から150枚\*<sup>1</sup>に向上  
1枚当たりの印刷コストは2.5円から2.05円\*<sup>2</sup>に低減

- \*1 A4片面横送り、標準設定連続プリント、RISOフェイスダウン排紙トレイ使用時
- \*2 A4片面、フルカラーCMYK各色5%、RISO XインクF使用時、用紙代別

## オフィスXで統一

私どもでは、お客様への提案書やセミナー案内DMなどカラードキュメントの使用ニーズが年々高まっており、それと同時にパフォーマンス（印刷能力）向上と印刷コスト低減が大きな課題となっております。

2006年に導入した従来機（オフィスHC5500）が高いコスト削減実績をあげていたことから、2009年3月末に従来使用していた複合機6台（カラー機2台、モノクロ機4台）を、5台のオフィスX7250へと置き換えました。こちらの事業所では営業マンを中心に約300人がオフィスXを使用しておりますが、1分間に120枚という印刷スピードは、台数が少なくなったことを感じさせません。また、従来は2台であったカラー対応機が5台に増えたことで、カラー印刷待ちのボトルネックが解消、機器ごとの使用頻度（負荷）も平準化できました。また、機能面においては、管理資料に多い「A3Z折り混在仕上げ」やスキャナで読み込んだ紙媒体の資料をダイレクトにPDF化する機能が利用者から好評を得ております。

年度末の入れ替え作業に関わらず、理想科学さんの営業の方・サービススタッフの方々がお親切に対応してくださったことで、大きなトラブルもなくスムーズな導入ができました。大変感謝しております。今後、さらなる機能エンハンス、新製品の開発を期待しています。

### ステークホルダーの声

富士通株式会社  
首都圏産業統括営業部  
産業第二営業部  
担当課長

福長 宏之 様



LC-CO<sub>2</sub>排出量

1.39t  
削減

1.39tのCO<sub>2</sub>量とは・・・?

樹齢80年の杉の木100本が、1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当します。

## 独自のプリント技術で、環境負荷低減に貢献

今まで私たちは、「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーとして、リソグラフィシステムやFORCEJETテクノロジーのような独自のプリント技術を創出してきました。これらの技術を活かし、お客様にご使用いただくことにより地球環境保全に貢献できる製品を世の中に送り出すことは、開発本部の責務と考えています。

オフィスXシリーズでは、ライフサイクルアセスメント（LCA）の結果を基に、的確かつ効率的に環境負荷を低減できる施策を、開発・設計に反映させました。その結果、カラーA4片面毎分150枚という高速プリントを実現しつつ、本体重量削減、インクカートリッジの省資源化、省エネルギーなども実現することができました。

今後はさらに一歩踏み込み、お客様に地球環境保全ソリューションを提供できる開発・設計を実践していきます。

### RISOからのメッセージ

理想科学工業株式会社  
取締役 開発本部長  
藤岡 秀則

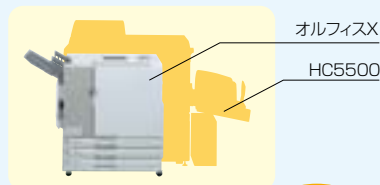


重量で  
約105kg  
削減!

### 削減の理由①

150枚/分の高速出力性能を、幅1m22cmのスリムなボディに凝縮。

150枚/分の高速・大量出力を可能にしながら、幅1m22cmのスリムなボディを実現。製品重量で約105kg、CO<sub>2</sub>排出量で約0.29t（38%）削減。



1本当たりの容積重量を  
約75g  
削減!

### 削減の理由②

インクカートリッジに段ボールとスパウトパックを採用。

段ボールの高いリサイクル性とスパウトパック採用による樹脂使用量削減により、1本当たりの容器重量を約75g、ライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量を約13.4kg（74%）削減。



ライフサイクルでの消費電力量を  
約2,504kWh  
削減!

### 削減の理由③

消費電力削減を徹底。

印刷時の電力低減やスリープからの復帰時間と消費電力の関係適正化により、ライフサイクルでの消費電力量約2,504kWh、ライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量で約1.02t（46%）削減。